



2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年5月10日

上場会社名 株式会社ホットマン 上場取引所 東
コード番号 3190 URL <http://www.yg-hotman.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 伊藤 信幸
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役兼管理本部長 (氏名) 柳田 聡 TEL 022-243-5091
定時株主総会開催予定日 2024年6月28日 配当支払開始予定日 2024年6月10日
有価証券報告書提出予定日 2024年6月28日
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	20,997	△3.7	287	△24.1	352	△19.3	204	9.4
2023年3月期	21,801	4.4	378	△11.6	436	△15.1	187	△29.5

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	29.04	—	2.9	2.2	1.4
2023年3月期	26.55	—	2.7	2.8	1.7

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 一百万円 2023年3月期 一百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	15,886	7,109	44.8	1,007.62
2023年3月期	15,911	7,000	44.0	992.15

(参考) 自己資本 2024年3月期 7,109百万円 2023年3月期 7,000百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	734	△1,149	307	781
2023年3月期	747	△687	△426	887

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	70	37.7	1.0
2024年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	70	34.7	1.0
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00		33.6	

3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,170	0.7	△173	—	△148	—	△130	—	△18.43
通期	21,100	0.5	300	4.3	368	3.7	210	2.5	29.76

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	7,275,500株	2023年3月期	7,275,500株
② 期末自己株式数	2024年3月期	220,000株	2023年3月期	220,000株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	7,055,500株	2023年3月期	7,055,500株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 財務諸表及び主な注記	6
(1) 貸借対照表	6
(2) 損益計算書	8
(3) 株主資本等変動計算書	9
(4) キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(持分法損益等)	12
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国の経済環境は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行し社会経済活動の正常化が進む一方、世界情勢の緊迫化による資源・原材料価格の高騰及び円安の長期化等により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社におきましても、仕入価格をはじめとした様々なコストが増加しており、また継続的な物価上昇が個人消費の抑制要因になることが予想され、厳しい状況が続いております。

そのような環境の中、会社方針に『遂げずばやまじ（成功するためには成功するまで続けることである）』を掲げました。今後当社がさらなる成長発展を可能にしていくために必要な事業への投資、また店舗移転に伴う設備投資等を積極的に進めていく方針を固め、社員が一丸となって協力し合うことにより変化の厳しい状況においても売上及び収益を確保するべく業務に取り組んで参りました。

2023年4月に宮城県栗原市に当社2号店となるシャトレーゼ築館店をグランドオープン（プレオープンは同年3月）及び2023年8月に宮城県仙台市若林区にあるTSUTAYAやまとまち店を退店致しました。また、2024年2月に宮城県仙台市若林区に地域の利便性向上を目指しイエローハット仙台六丁の目店を、同年3月には旧イエローハット仙台六丁の目店の場所にアップガレージ仙台店、福島県郡山市に「イエローハットフェスタ郡山店」から「イエローハット郡山西ノ内店」へ店舗名を変更し、それぞれ移転オープン致しました。

当事業年度末の店舗数は、イエローハットが90店舗、TSUTAYAが8店舗（前事業年度比1店舗減）、アップガレージが8店舗、カーセブンが3店舗、ダイソーが6店舗、コメダ珈琲店が1店舗、シャトレーゼが2店舗、宝くじ売場が5店舗の合計123店舗（前事業年度比1店舗減）となっております。

この結果、当事業年度の業績は、売上高は20,997百万円となり、前事業年度比804百万円（前事業年度比3.7%減）の減収となりました。経常利益につきましては352百万円となり、前事業年度比84百万円（前事業年度比19.3%減）の減益となりました。当期純利益は204百万円となり、前事業年度比17百万円（前事業年度比9.4%増）の増益となりました。減収の要因は主として、店舗移転に伴う休業、暖冬と2024年3月の度重なる降雪の影響により、イエローハット事業の主力季節商品であるスタッドレスタイヤと春先の夏タイヤの販売時期がずれ込み伸び悩んだこと及びTSUTAYA事業における消費行動の変化に伴う販売低迷によるものとなっております。この結果、営業・経常利益共に減益となりました。当期純利益の増益の要因は主として、前第3四半期累計期間における子会社の清算に伴う特別損失の計上、当事業年度におけるTSUTAYAやまとまち店の退店及び関係会社株式の売却に伴う特別利益の計上によるものとなっております。

セグメント別の業績は次の通りであります。

[イエローハット]

当社の主たる事業であるイエローハット事業におきましては、地域の利便性向上を目指し2024年2月に宮城県仙台市若林区にイエローハット仙台六丁の目店を、同年3月には福島県郡山市に「イエローハットフェスタ郡山店」を「イエローハット郡山西ノ内店」へ店舗名を変更し、それぞれ移転オープン致しました。

コロナ禍で減少した来店客数の回復をはかるべく、会員獲得や車検を中心としたカーメンテナンスの販売に注力したものの、店舗移転に伴う休業、暖冬と2024年3月の度重なる降雪の影響により、イエローハット事業の主力季節商品であるスタッドレスタイヤと春先の夏タイヤの販売時期がずれ込み伸び悩んだこと及び販売単価の下落等もあり、当事業年度の売上高は低調に推移致しました。

この結果、当事業年度の業績は、売上高16,132百万円（前事業年度比3.5%減）、セグメント利益（営業利益）は597百万円（前事業年度比19.6%減）となっております。

[TSUTAYA]

TSUTAYA事業におきましては、書籍の販売に注力したものの、消費行動の変化に伴う販売低迷及び2023年8月に宮城県仙台市若林区にあるTSUTAYAやまとまち店の退店もあり、当事業年度の売上高は低調に推移致しました。

この結果、当事業年度の業績は、売上高1,700百万円（前事業年度比19.6%減）、セグメント損失（営業損失）は76百万円（前事業年度は102百万円のセグメント損失（営業損失））となっております。

[アップガレージ]

アップガレージ事業におきましては、2024年3月に宮城県仙台市若林区の旧イエローハット仙台六丁の目店の場所にアップガレージ仙台店を移転オープン致しました。

店舗移転に伴う休業もあり、売上高は概ね横ばいで推移致しましたが、収益構造の見直し等による粗利率の向上に注力したことにより、当事業年度は営業利益に改善が見られました。

この結果、当事業年度の業績は、売上高1,086百万円（前事業年度比0.5%増）、セグメント利益（営業利益）は91百万円（前事業年度比18.1%増）となっております。

[その他]

その他事業におきましては、2023年4月に宮城県栗原市に当社2号店となるシャトレーゼ築館店をグランドオープン（プレオープンは同年3月）致しました。シャトレーゼ事業は出店以来お客様の来店状況も良く全体売上高には貢献致しましたが、新規出店による費用の増加により、セグメント利益（営業利益）については減益となっております。

ダイソー事業、保険事業、カーセブン事業及び不動産賃貸事業におきましては、売上高は好調に推移致しました。

コマダ事業及び宝くじ事業におきましては、売上高は低調に推移致しました。

この結果、当事業年度の経営成績は、売上高2,077百万円（前年同期間比10.7%増）、セグメント利益（営業利益）は97百万円（前年同期間比7.9%減）となっております。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産

当事業年度における流動資産の残高は645百万円減少し、7,491百万円（前事業年度末8,137百万円）となりました。これは主に、商品が304百万円、未収入金が133百万円及び売掛金が102百万円減少したことによるものであります。

また、固定資産の残高は620百万円増加し、8,394百万円（前事業年度末7,774百万円）となりました。これは主に、株式の売却により関係会社株式が115百万円減少したものの、新規出店や移転に伴う建設仮勘定が381百万円、建物が190百万円及び土地が177百万円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計残高は15,886百万円（前事業年度末15,911百万円）となりました。

② 負債

当事業年度における流動負債の残高は249百万円減少し、6,125百万円（前事業年度末6,374百万円）となりました。これは主に、短期借入金が200百万円増加したものの、買掛金が526百万円及び未払金が103百万円減少したことによるものであります。

また、固定負債の残高は114百万円増加し、2,651百万円（前事業年度末2,536百万円）となりました。これは主に、長期借入金が125百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計残高は8,777百万円（前事業年度末8,911百万円）となりました。

③ 純資産

当事業年度における純資産の残高は109百万円増加し、7,109百万円（前事業年度末7,000百万円）となりました。これは、当期純利益を204百万円計上したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、781百万円となりました。

当事業年度末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、734百万円（前事業年度は747百万円の収入）となりました。

これは主に、仕入債務の減少が526百万円及び法人税等の支払額が165百万円あったものの、棚卸資産の減少が304百万円及び税引前当期純利益359百万円及び減価償却費371百万円を計上したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1,149百万円（前事業年度は687百万円の支出）となりました。

これは主に、関係会社株式の売却による収入が118百万円あったものの、有形固定資産の取得による支出が1,311百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、307百万円（前事業年度は426百万円の支出）となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出が318百万円あったものの、長期借入れによる収入が500百万円及び短期借入金の純増減額が200百万円増加したことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期
自己資本比率 (%)	45.2	44.2	44.7	44.0	44.8
時価ベースの 自己資本比率 (%)	22.2	23.8	26.3	25.6	26.7
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率 (年)	9.1	3.8	36.3	5.2	5.8
インタレスト・ カバレッジ・レシオ (倍)	16.6	44.7	5.0	33.3	41.2

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注2) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注3) 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

2025年3月期の見通しにつきましては、2024年3月期と同様に売上総利益率の向上策を推進し、「利益の確保」を計画しております。

主たる事業であるイエローハット事業におきましては、車検販売を主軸にカーメンテナンス等工賃収入の増加を計画しております。

TSUTAYA事業においては、書籍と文具の品揃えの強化及び多様化する顧客のニーズに応えるべく業務内容の改善を計画しております。

アップガレージ事業及びその他については、新規出店店舗による費用増があるものの、概ね横ばいと予想しております。

物価高騰による節約志向は緩やかに回復するものの、人件費や電気料金をはじめとする費用は全般的に増加するものと予想しており、通期の売上高は増収を予定するも、営業利益、経常利益及び当期純利益に関しましては、概ね横ばい予想となります。

翌事業年度の売上高は21,100百万円、経常利益は368百万円、当期純利益210百万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は日本基準による非連結決算を実施しております。今後の I F R S (国際財務報告基準) 導入に関する動向を注視しつつ、適切に対応する体制の整備に努めて参ります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	989,110	894,793
売掛金	793,060	690,920
商品	5,784,832	5,480,448
貯蔵品	1,914	2,272
前払費用	134,446	130,172
未収入金	410,132	276,133
その他	23,965	16,931
流動資産合計	8,137,462	7,491,671
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,362,231	2,552,660
構築物（純額）	228,554	240,780
車両運搬具（純額）	46,617	33,608
工具、器具及び備品（純額）	396,423	409,714
土地	2,320,859	2,498,358
建設仮勘定	2,200	383,731
有形固定資産合計	5,356,886	6,118,853
無形固定資産		
	23,895	20,219
投資その他の資産		
投資有価証券	193,294	248,405
関係会社株式	116,030	294
長期前払費用	36,295	34,493
繰延税金資産	916,582	920,305
長期預金	31,650	22,900
敷金及び保証金	1,080,664	1,023,834
リース投資資産	18,949	5,127
その他	180	180
投資その他の資産合計	2,393,647	2,255,541
固定資産合計	7,774,429	8,394,614
資産合計	15,911,892	15,886,285

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,560,848	1,034,034
短期借入金	3,050,000	3,250,000
1年内返済予定の長期借入金	309,993	366,654
リース債務	6,171	—
未払金	364,776	261,232
未払費用	219,703	252,945
未払法人税等	170,920	162,948
未払消費税等	51,142	138,538
前受金	78,570	65,015
預り金	30,563	79,981
賞与引当金	90,416	93,333
契約負債	434,077	415,222
その他	7,700	5,711
流動負債合計	6,374,882	6,125,616
固定負債		
長期借入金	516,683	641,698
リース債務	46,033	—
退職給付引当金	1,585,942	1,609,661
役員退職慰労引当金	161,722	166,108
資産除去債務	175,954	183,724
長期預り敷金保証金	50,553	50,222
その他	22	—
固定負債合計	2,536,911	2,651,414
負債合計	8,911,793	8,777,031
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,910,645	1,910,645
資本剰余金		
資本準備金	500,645	500,645
資本剰余金合計	500,645	500,645
利益剰余金		
利益準備金	42,692	42,692
その他利益剰余金		
圧縮記帳積立金	65,511	62,240
別途積立金	1,230,000	1,230,000
繰越利益剰余金	3,253,022	3,390,617
利益剰余金合計	4,591,227	4,725,551
自己株式	△108,380	△108,380
株主資本合計	6,894,137	7,028,461
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	105,960	80,791
評価・換算差額等合計	105,960	80,791
純資産合計	7,000,098	7,109,253
負債純資産合計	15,911,892	15,886,285

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	21,801,939	20,997,839
売上原価		
商品期首棚卸高	5,394,179	5,784,832
当期商品仕入高	12,642,220	11,504,398
合計	18,036,400	17,289,230
他勘定振替高	41,118	44,625
商品期末棚卸高	5,784,832	5,480,448
商品売上原価	12,210,450	11,764,157
売上総利益	9,591,489	9,233,681
販売費及び一般管理費	9,212,675	8,946,115
営業利益	378,814	287,565
営業外収益		
受取利息	2,848	1,956
受取配当金	12,047	12,178
受取手数料	19,348	20,174
受取報奨金	9,533	10,366
産業廃棄物収入	18,464	20,463
その他	24,729	30,349
営業外収益合計	86,972	95,488
営業外費用		
支払利息	22,504	17,750
その他	6,490	12,640
営業外費用合計	28,994	30,391
経常利益	436,792	352,663
特別利益		
固定資産売却益	—	49
投資有価証券売却益	—	3,786
関係会社株式売却益	105,101	106,172
賃貸借契約解約益	—	46,576
特別利益合計	105,101	156,585
特別損失		
減損損失	72,184	128,041
固定資産除却損	3,322	12,731
関係会社株式評価損	59,160	—
店舗閉鎖損失	—	9,409
貸倒損失	43,637	—
解体撤去費用	9,234	—
特別損失合計	187,538	150,183
税引前当期純利益	354,355	359,065
法人税、住民税及び事業税	142,399	135,564
法人税等調整額	24,621	18,622
法人税等合計	167,021	154,187
当期純利益	187,334	204,878

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金	
					圧縮記帳積立金	別途積立金
当期首残高	1,910,645	500,645	500,645	42,692	68,811	1,230,000
当期変動額						
剰余金の配当						
当期純利益						
圧縮記帳積立金の取崩					△3,299	
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)						
当期変動額合計	—	—	—	—	△3,299	—
当期末残高	1,910,645	500,645	500,645	42,692	65,511	1,230,000

	株主資本				評価・換算差額等		純資産合計
	利益剰余金		自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
	その他利益剰余金	利益剰余金合計					
	繰越利益剰余金						
当期首残高	3,132,944	4,474,448	△108,380	6,777,358	140,403	140,403	6,917,762
当期変動額							
剰余金の配当	△70,555	△70,555		△70,555			△70,555
当期純利益	187,334	187,334		187,334			187,334
圧縮記帳積立金の取崩	3,299	—		—			—
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					△34,442	△34,442	△34,442
当期変動額合計	120,078	116,779	—	116,779	△34,442	△34,442	82,336
当期末残高	3,253,022	4,591,227	△108,380	6,894,137	105,960	105,960	7,000,098

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金	
					圧縮記帳積立金	別途積立金
当期首残高	1,910,645	500,645	500,645	42,692	65,511	1,230,000
当期変動額						
剰余金の配当						
当期純利益						
圧縮記帳積立金の取崩					△3,271	
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						
当期変動額合計	—	—	—	—	△3,271	—
当期末残高	1,910,645	500,645	500,645	42,692	62,240	1,230,000

	株主資本				評価・換算差額等		純資産合計
	利益剰余金		自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
	その他利益剰余金	利益剰余金合計					
	繰越利益剰余金						
当期首残高	3,253,022	4,591,227	△108,380	6,894,137	105,960	105,960	7,000,098
当期変動額							
剰余金の配当	△70,555	△70,555		△70,555			△70,555
当期純利益	204,878	204,878		204,878			204,878
圧縮記帳積立金の取崩	3,271	—		—			—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					△25,168	△25,168	△25,168
当期変動額合計	137,594	134,323	—	134,323	△25,168	△25,168	109,155
当期末残高	3,390,617	4,725,551	△108,380	7,028,461	80,791	80,791	7,109,253

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	354,355	359,065
減価償却費	355,996	371,791
減損損失	72,184	128,041
店舗閉鎖損失	—	9,409
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,750	2,916
関係会社株式売却損益 (△は益)	△105,101	△106,172
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△3,786
受取利息及び受取配当金	△14,896	△14,134
賃貸借契約解約益	—	△46,576
支払利息	22,504	17,750
解体撤去費用	8,290	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△85,991	102,139
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△391,220	304,026
未収入金の増減額 (△は増加)	△52,679	133,999
仕入債務の増減額 (△は減少)	418,092	△526,814
未払金の増減額 (△は減少)	91,109	△9,058
未払費用の増減額 (△は減少)	8,068	32,754
未払消費税等の増減額 (△は減少)	21,453	87,395
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4,387	4,386
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	89,586	23,719
契約負債の増減額 (△は減少)	19,325	△18,855
関係会社株式評価損	59,160	—
固定資産除却損	3,322	12,731
貸倒損失	43,637	—
その他	△48,660	39,266
小計	874,673	903,997
利息及び配当金の受取額	14,895	14,134
利息の支払額	△22,424	△17,825
法人税等の支払額	△119,640	△165,471
営業活動によるキャッシュ・フロー	747,504	734,835
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△824,656	△1,311,002
無形固定資産の取得による支出	—	△13,558
関係会社株式の売却による収入	117,776	118,555
投資有価証券の売却による収入	—	4,514
定期預金の預入による支出	△48,200	△82,250
定期預金の払戻による収入	48,800	78,800
敷金及び保証金の差入による支出	△12,377	△3,367
敷金及び保証金の回収による収入	53,987	60,337
その他	△22,587	△1,050
投資活動によるキャッシュ・フロー	△687,257	△1,149,021
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	200,000
長期借入れによる収入	—	500,000
長期借入金の返済による支出	△344,992	△318,324
配当金の支払額	△70,555	△70,555
リース債務の返済による支出	△10,856	△3,452
財務活動によるキャッシュ・フロー	△426,403	307,668
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△366,157	△106,517
現金及び現金同等物の期首残高	1,254,050	887,893
現金及び現金同等物の期末残高	887,893	781,375

(5) 財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(持分法損益等)
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社は、フランチャイジーとして展開する各事業を基本的な構成単位として、経営資源の配分の決定を行い業績を評価しているため、商品・サービス別のセグメントから構成されております。

当社は、カー用品の販売、取付、車検、整備等を行う「イエローハット事業」、書籍・文具雑貨等の販売、DVDのレンタル等を行う「TSUTAYA事業」、中古カー用品の買取・販売の「アップガレージ事業」を中心として事業活動を展開していることから、「イエローハット事業」「TSUTAYA事業」「アップガレージ事業」を報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表を作成するために採用される会計処理の原則及び手続に概ね準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は実勢価格を勘案して予め定めた合理的な金額に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	財務諸 表 計上額 (注) 3
	イエロー ハット	TSUTAYA	アップ ガレージ	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	16,725,881	2,116,532	1,081,797	19,924,211	1,877,727	21,801,939	—	21,801,939
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	14,027	1,718	297	16,042	21,795	37,838	△37,838	—
計	16,739,908	2,118,251	1,082,094	19,940,254	1,899,523	21,839,777	△37,838	21,801,939
セグメント利益 又は損失 (△)	742,712	△102,695	77,073	717,090	105,499	822,589	△443,775	378,814
セグメント資産	10,356,921	1,664,963	560,337	12,582,223	1,347,001	13,929,224	1,982,667	15,911,892
その他の項目								
減価償却費	224,122	32,961	19,952	277,037	46,568	323,605	13,636	337,241
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	570,157	3,735	55,782	629,674	400,665	1,030,340	29,263	1,059,603

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ダイソー事業、コマダ事業、シヤトレゼ事業及び保険収入等を含んでおります。

2. 調整額は、以下の通りであります。

(1) セグメント利益又は損失 (△) の調整額△443,775千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額1,982,667千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金、繰延税金資産等であります。

(3) 減価償却費の調整額13,636千円は、管理部門の資産に係る減価償却費であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	財務諸 表 計上額 (注) 3
	イエロー ハット	TSUTAYA	アップ ガレージ	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	16,132,393	1,700,696	1,086,954	18,920,044	2,077,795	20,997,839	—	20,997,839
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	22,135	1,533	380	24,049	23,556	47,605	△47,605	—
計	16,154,528	1,702,230	1,087,334	18,944,093	2,101,351	21,045,444	△47,605	20,997,839
セグメント利益 又は損失 (△)	597,374	△76,670	91,003	611,706	97,192	708,899	△421,333	287,565
セグメント資産	10,599,968	1,402,786	861,419	12,864,174	1,288,517	14,152,692	1,733,593	15,886,285
その他の項目								
減価償却費	238,317	24,389	18,653	281,360	58,919	340,279	14,150	354,430
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	894,577	1,181	323,695	1,219,454	30,290	1,249,744	—	1,249,744

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ダイソー事業、コマダ事業、シヤトレゼ事業及び保険収入等を含んでおります。

2. 調整額は、以下の通りであります。

- (1) セグメント利益又は損失 (△) の調整額△421,333千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額1,733,593千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金、繰延税金資産等であります。
- (3) 減価償却費の調整額14,150千円は、管理部門の資産に係る減価償却費であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	992.15円	1,007.62円
1株当たり当期純利益金額	26.55円	29.04円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益金額 (千円)	187,334	204,878
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益金額 (千円)	187,334	204,878
期中平均株式数 (株)	7,055,500	7,055,500

(重要な後発事象)

該当事項はありません。